

生産工程の見える化

可視化で問題を先取り！ 潜在課題の解決へ

概要

多数のプロセスからなる生産工程において、各工程の進捗や稼働状況をリアルタイムで把握。異常はもちろんのこと、工程内に潜む課題やムダを早期発見し、改善につなげました。現場が必要とするデータを「見える化」することで、課題解決までの時間を短縮。従業員のモチベーション向上にもつながり、生産性が向上しました。

結果・データ

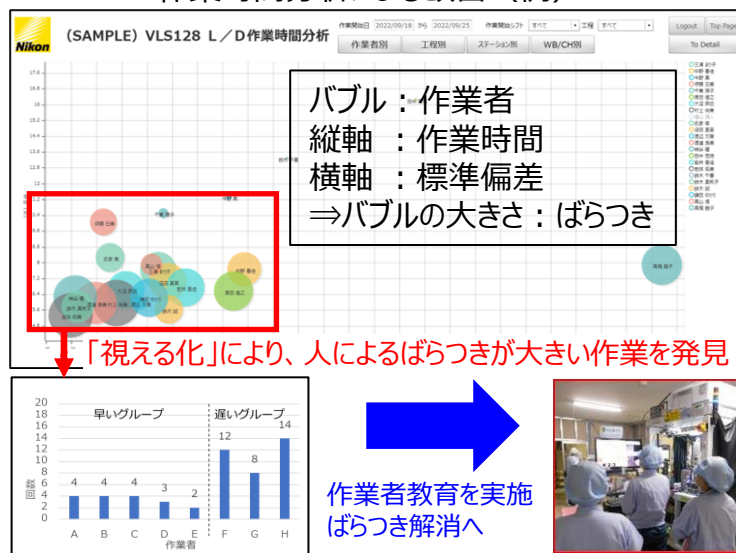
生産工程モニタリング



- ・生産進捗
- ・自動機稼働率
- ・設備稼働履歴 など

データ分析を行い、生産現場に必要な情報へ変換

作業時間分析による改善（例）



特徴

- 工程や工場にある既存データを活用。更に、見たいデータに合わせてセンシング技術をご提案します。
- 現場の要望に沿ったデータ分析を行い可視化ボードをご提供することで、以下のようなメリットが得られます。
 1. トラブルにいち早く気づく
 2. 生産における問題・課題をデータで示し、モノづくりの生産性を高める
 3. 問題に対し、現場での判断や決断を早く・正確に行う

応用例

- ◎ ネック工程改善
- ◎ 品質改善
- ◎ 作業効率化
- ◎ 作業の標準化

株式会社仙台ニコン

住所：981-1221 宮城県名取市田高字原277
 TEL：022-384-0011
 E-mail：Production.Request.Info@nikon.com
 URL：https://www.jp.nikon.com/company/corporate/group/ksn/

仙台ニコンのモノづくり現場改善

モノづくりに精通し、多種多様な生産現場を指導してきた改善専門家が、工場の生産性向上のための課題を洗い出し、具体的な改善の方向性を提案いたします。